

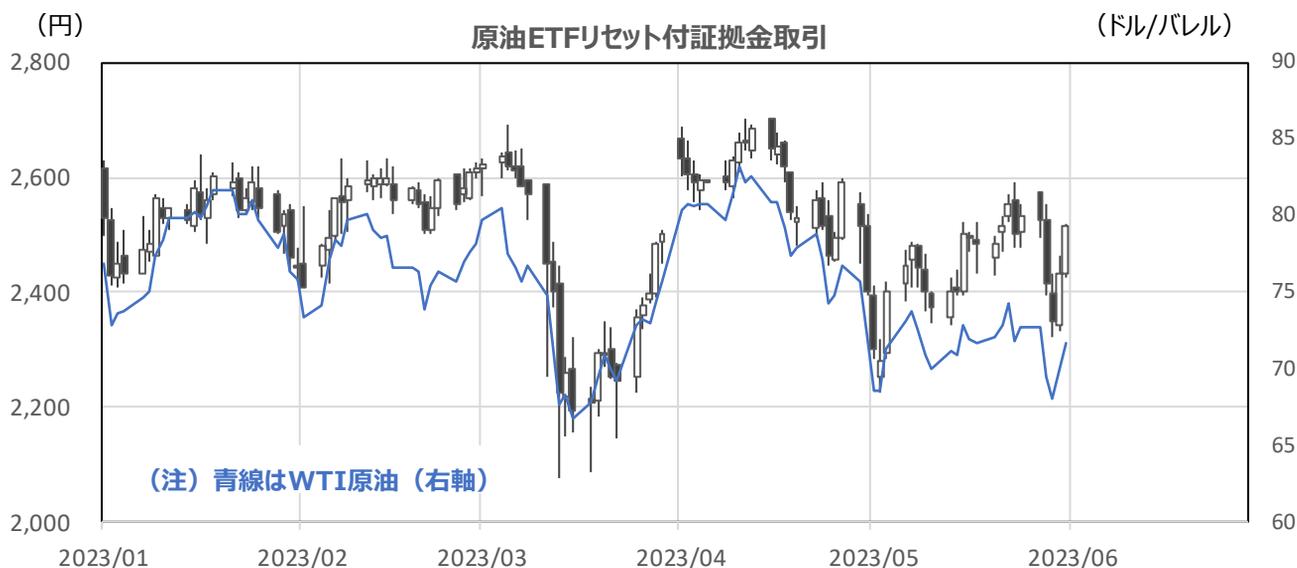
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

乱高下する不安定な地合

NY原油先物相場は、1バレル=67.03ドルまで下落して5月4日以来の安値を更新した後、71ドル台後半まで急反発する荒れた展開になった。5月末にかけてはファンドの手仕舞い売りが強まり、70ドルの節目割れから一段安になった。しかし、6月入り後は押し目買いが膨らみ高値は72.17ドルに達した。

5月29日のメモリアルデーの連休を経て、米国は本格的なドライブシーズンに突入している。しかし、行楽用の輸送エネルギー需要の拡大期待を本格的に織り込むような動きは見られなかった。中国の低調な製造業指標がネガティブ材料視される一方、米債務上限問題が解決されたことはポジティブ材料視されているが、乱高下しながらも明確な方向性は打ち出せなかった。6月3～4日に石油輸出国機構(OPEC) プラス会合を控えたイベントリスクもあり、持高調整が中心の不安定な値動きになった。ドル相場の影響も、週前半はドル高が上値圧迫、週後半はドル安が下値支持と、決め手を欠いている。

米エネルギー情報局(EIA)の米石油在庫(5月26日時点)は、原油が前週比449万バレル増、ガソリンが21万バレル減、石油精製品が99万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

リスクオンで堅調、ドライブシーズンの需要動向に注目

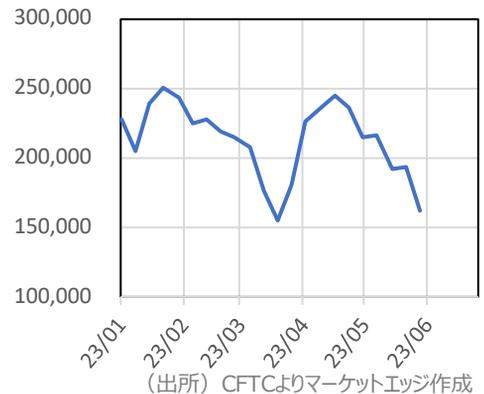
米債務上限関連法案は5月31日に下院、6月1日に下院で可決され、米国のデフォルト（債務不履行）回避が決定的になった。これを受けてリスク投資全体の地合いが改善しており、原油相場も下値を固める方向性になろう。突発的な急落対応を迫られるリスクが軽減されていることで、70ドル台定着からじり高の展開に展開になろう。

米債務上限問題が終息したことで、改めて需給環境の評価が注目される。北半球はドライブシーズンが本格化しており、各種調査だと自動車や飛行機を利用した行楽需要の拡大が報告されていることはポジティブ。今季の米ガソリン在庫は過去5年のレンジを下回っており、更にガソリン在庫の取り崩しが進むと、ガソリン相場主導の上昇リスクが高まろう。

また、中国景気に不透明感がある一方、輸送用エネルギー需要拡大期待が強いこともポジティブ。6月7日に発表される中国の5月貿易収支がイベントリスクになるが、年後半に向けて同国原油需要が拡大し、国際原油需給が引き締まるとの見通しが維持されると、5月24日の直近高値74.73ドルを上抜く可能性が高まる。

6月3～4日にはOPECプラス会合が開催されたが、現行の協調減産体制を2023年末から24年末まで延長することが決まった。また、サウジアラビアが7月に独自に追加減産を行う方針も示した。5月産油量の日量1,000万バレルに対して、7月は900万バレルを予定している。また、各国の生産目標の数値の修正が行われている。OPECプラスが原油価格を下支えし、値下がり許容しない明確なスタンスを示したことはポジティブ。

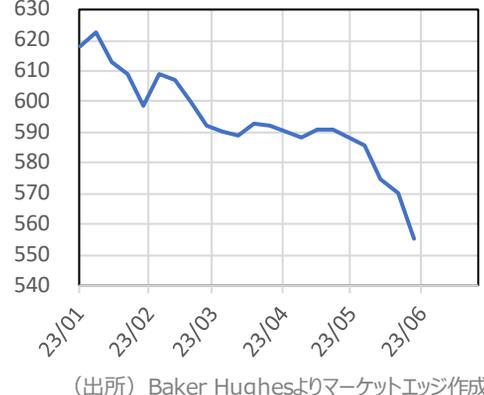
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

